

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	I	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向：	(1)	家庭生活・地域・職場における男女平等の意識づくり	
具体的施策：	①	男女共同参画に関する講演会やセミナー、パネル展を開催し男女平等の意識啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
1	男女平等に関する講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	年に1回以上
2	男女共同参画に関する講演会やセミナーのテーマについて、内容が「理解できた」「おおむね理解できた」と答えた人の割合	—	70%以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
家庭・地域・職場における男女平等に関する講演会やセミナー、パネル展を開催し、意識啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・男女共同参画パネル展の開催（6月、9月） ・令和5年10月20日 男女共同参画セミナー 「笑って考えよう 生活のこと、仕事のこと ～男性の家事が社会を救う！～」 講師：東京大学 教授 瀬地山 角 氏（参加者：103名） 【年代別内訳：20代以下6.3%、30代31.6%、40代27.8%、50代16.5%、60代8.9%、無回答2.5%】	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
・アンケート結果からは、セミナー参加後の理解・関心について、87.3%の方が「（大変）深まった」と回答しており、とても参考になったと回答している。CMをもとにジェンダー問題をわかりやすく学ぶことができ、家庭・地域・職場などあらゆる場面において、男女がともに活躍できるようなヒントを学ぶことができた。		

【委員会の評価】

・参加者数だけではなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標：	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり
施策の方向：	(1)	家庭生活・地域・職場における男女平等の意識づくり
	(2)	あらゆる分野における固定的性別役割分担意識の解消・社会的慣習の見直しに向けた啓発
具体的施策：	②	市報等を通じて、男女平等に関する情報を発信し、正しい知識の普及・啓発に努めます。
	②	市報等を通じて、固定的性別役割分担意識・社会的慣習を見直すための情報発信を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
2	男女共同参画に関する講演会やセミナーのテーマについて、内容が「理解できた」「おおむね理解できた」と答えた人の割合	—	70%以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて、固定的性別役割分担意識・社会的慣習を見直すための情報及び男女共同参画に関する情報を掲載し、正しい知識の普及啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・1月1日号「ひとらしく生きる～人権について考えてみませんか～」においてアンコンシャス・バイアスについて掲載を行った。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた(8割以上)
	・アンコンシャス・バイアスの身近な事例から、自分自身の思い込みについて考える機会になったと思う。今後も身近な事例を様々な視点からわかりやすく啓発していきたい。	

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などすると検証結果につながるのでは。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	I	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向：	(2)	あらゆる分野における固定的性別役割分担意識の解消・社会的慣習の見直しに向けた啓発	
具体的施策：	①	固定的性別役割分担意識・社会的慣習の解消に向けた講演会やセミナー、パネル展を開催します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良いと思う市民の割合	72.3%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
固定的性別役割分担意識・社会的慣習の解消に向けた講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・令和5年10月20日 男女共同参画セミナー 「笑って考えよう 生活のこと、仕事のこと ～男性の家事が社会を救う！～」 講師：東京大学 教授 瀬地山 角 氏（参加者：103名） 【年代別内訳：20代以下6.3%、30代31.6%、40代27.8%、50代16.5%、60代8.9%、無回答2.5%】	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
・アンケート結果からは、セミナー参加後の理解・関心について、87.3%の方が「（大変）深まった」と回答結果となった。また参加者からは「時代が変わりました。考え方、見方を考えさせられました。」との意見もあり、固定的役割分担意識を考える機会となった。		

【委員会の評価】

・参加者数だけではなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	I	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向：	(3)	LGBT（性的少数者）に対する正しい知識の啓発	
具体的施策：	①	講演会やセミナー、パネル展を通して、正しい知識の普及・啓発に努めます。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
4	LGBTについて「内容まで知っている」と答えた人の割合	28.6%	33.3%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
LGBT（性的少数者）に対する正しい知識の普及・啓発のための講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	・男女共同参画パネル展の開催（6月） ・人権パネル展（8月）	
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
	・男女共同参画パネル展にLGBT（性的マイノリティ）の啓発を行った。「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」（LGBT理解増進法）についても継続して啓発していきたい。	

【委員会の評価】

・講演会を実施して、より市民の理解を深めていくとよいと思う。（R5）

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	I	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	1	男女一人ひとりを尊重する意識づくり	
施策の方向：	(3)	LGBT（性的少数者）に対する正しい知識の啓発	
具体的施策：	②	市報等を通じて、性の多様性について情報発信を行います。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
4	LGBTについて「内容まで知っている」と答えた人の割合	28.6%	33.3%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて性の多様性に関する情報発信を行う。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	・ ホームページにおいてLGBTQ（性的マイノリティ）についての啓発を行った。	
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割程度）
・ 様々な機会を捉えて啓発していきたい。		

【委員会の評価】

・ 市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などすると検証結果につながるのでは。（R3）

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	2	男女平等を推進する教育・学習の充実	
施策の方向：	(1)	保育園（こども園）・学校における男女平等の推進	
具体的施策：	①	保育園、こども園において、乳幼児一人ひとりが安心して自己発揮できる環境作りに努め、日々の教育・保育を通して、固定的役割分担意識にとらわれない保育を実施します。	
	②	保育園、こども園及び学校において、豊かな体験活動を通して、成長に応じた主体的に行動する能力・態度を身に付けるための学習機会を提供し、男女平等教育の充実を図ります。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
5	学校生活において男女の地位が「平等になっている」と感じている生徒の割合	68.0%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	保育園・こども園における、男女平等意識を育む保育・教育	事業の対象
保育園・こども園において、男女平等教育を視点とした保育・教育に努める。		乳幼児

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・保育園、こども園において、 ・保育過程、年間指導計画、月間・週間指導計画、個別の経過記録等に基づき、年齢ごとの発達段階、個々の発達段階に沿った保育を実施した。 ・遊びを充実させるための環境を日々構成し、友だちとのかかわりを通して培われていく心の育ちを大切にした保育を実施した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
	・定期的に行われる園内研修の中で、個々の発達段階に沿った男女平等教育を職員が学び合うことにより、乳幼児に対する保育の充実につながる。一人ひとりの個性を尊重した保育を行うことができた。	

【委員会の評価】

・幼児から小学校の時期に性差による差別があってはならないことを教育する。お互いに協力し合うということが前提。親、保護者よりも子どもたちへの教育が必要と思う。(R3) ・親、保護者への啓発は難しいと思うが、こどもは親の意見が反映されるので大切である。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R 5
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	1 人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標：	2 男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向：	(1) 保育園（こども園）・学校における男女平等の推進
具体的施策：	② 保育園、こども園及び学校において、豊かな体験活動を通して、成長に応じた主体的に行動する能力・態度を身に付けるための学習機会を提供し、男女平等教育の充実に努めます。
	③ 学校において、男女平等の視点を基盤に、子どもたちが自立して生きる力を育む教育の充実に努めます。

番号	指標	基準（H30）	目標（R 5）
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良いと思う市民の割合	72.3%	75.0%
5	学校生活において男女の地位が「平等になっている」と感じている生徒の割合	68.0%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	キャリア教育推進事業	事業の対象
性別による固定的役割分担意識にとらわれず、夢や希望をかなえるために自立して生きる力を育む体験活動の機会を設定する。		生徒

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・「将来の夢や目標をもっていると答える子どもの割合を85%以上にする」というキャリア教育の成果目標に対する数値は85.7%であった。 ・11月12日（木）に「1年生の職ナビゲーション」を実施した。（参加者約300名） ・市内小中学校では、児童生徒の発達段階に応じて「キャリアパスポート」を活用した。 ・市内全中学校の2年生が職場体験学習を実施した。 ・2月に「胎内市キャリア教育推進協議会」を実施した。
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） ・「中1年生の職ナビゲーション」は、15事業所の協力を得て、ブースを解説できた。企業の工夫や働く人のやりがいを直接感じ取ることができ、自分の将来を改めて見つめ直す、よい機会となっている。今後も継続していきたい。 ・中条中学校が今年度から2ヶ年間、文科省の補助事業「アントレーナリーシップ教育推進モデル事業」に取り組んでいる。その成果が認められ、キャリア教育文部科学大臣表彰を受賞した。 ・コロナ禍のため、4年ぶりの対面での開催となった「キャリア教育推進協議会」では、多様な職種の委員の方々から、貴重な助言・提言をいただくことができた。

【委員会の評価】

・職ナビはコロナ禍であったが良い取組だと感じる。継続してほしい。(R3) ・「職ナビゲーション」「キャリア・パスポート」には男女平等の概念がどう盛り込まれているかがわかるように記載すると良い。(R3) ・幼児から小学校の時期に性差による差別があってはならないことを教育する。お互いに協力し合うということが前提。親、保護者よりも子どもたちへの教育が必要と思う。(R3) ・親、保護者への啓発は難しいと思うが、こどもは親の意見が反映されるので大切である。(R3) ・こども達に対しても大切だが、先生方の意識改革や行動変容もとても重要である。働き方改革が叫ばれている中、厳しい職場環境に対する整備や就業に関する意識改革など、取組をすすめていただき、本シートにも盛り込んでいただきたい。(R4)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】
☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	2	男女平等を推進する教育・学習の充実	
施策の方向：	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発	
具体的施策：	①	保育士・教職員等に対し、職員研修の一環として男女平等教育の必要性について研修機会を提供します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保育士の研修参加	事業の対象
保育士に対して、男女共同参画事業に関する研修会への参加を促し、男女平等教育の必要性や理解を求める機会を提供する。		保育士

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・定期的に行われる園内研修の中で、個々の発達段階に沿った男女平等教育を職員が学び合うことにより、乳幼児に対する保育の充実につながった。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた (6～7割程)
	・毎月開催される園長会議において、男女平等を推進する教育・保育ができるよう引き続き情報の共有を図っていく。また、保育士等に対し、男女共同参画に関する講演会やセミナーの情報提供に努める。	

【委員会の評価】

・保育士も小・中学校教員のように男女共同参画の研修会に参加していくとよいと思う。(R5)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
 ☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	2	男女平等を推進する教育・学習の充実	
施策の方向：	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発	
具体的施策：	②	保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保育園・こども園における保護者会・学級懇談会	事業の対象
子どもたちが性別にとわられない考え方を育み、男女共同参画社会を実現していくために、最も身近な存在である保護者を対象として、保護者会や学級懇談会を実施し、男女平等に関する情報提供を行い、普及を図る。		保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・定期的に保護者向けに園だより等で情報を発信した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた (6～7割)
・保護者向けのお便りでは、母親のイラストだけではなく、父親のイラストを入れるなど工夫をすることによりイラストによる先入観をなくした。		

【委員会の評価】

・進路や成績のことなら足を運んでも、会への出席は難しいのではないか。お便り、広報誌の活用を促された。 (R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり
重点目標：	2	男女平等を推進する教育・学習の充実
施策の方向：	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発
具体的施策：	②	保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良いと思う市民の割合	72.3%	75.0%
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保育園・こども園におけるおたよりの発行	事業の対象
保護者向けにおたよりを発行し、男女平等に関する情報発信を行い、普及を図る。 園だより・学級だより：随時		保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・保護者向けに園だより等で男女平等に対する情報を発信した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
・子育てに参加をする父親が増えてきている。専業主夫の存在も確認できた。また、土日、祝日には父親同士で子育て支援センターを利用する姿が頻繁にみられるようになった。父親も子育てを楽しむことができるような情報をこれからも発信していきたい。 ・保護者向けのお便りでは、イラストによる先入観をなくし、母親のイラストだけではなく、父親のイラストを入れるなど工夫をした。		

【委員会の評価】

・園だよりにおける男女平等に関する情報発信については、具体的な内容がないと評価しづらい。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	2	男女平等を推進する教育・学習の充実	
施策の方向：	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発	
具体的施策：	②	保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
3	男性は仕事、女性は家庭というような固定的性別役割分担意識について、解消していった方が良いと思う市民の割合	72.3%	75.0%
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	保護者に対する男女平等意識の啓発	事業の対象
保護者会や各種便り、ホームページ等の活用を通して、男女平等や人権の尊重についての周知と啓発を図る。		保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・特別な教科「道徳」や体育（保健体育）等をはじめとする教育活動を全体を通して、「性別に関係なく一人の人間として尊重することの大切さ」について学び機会を適切に行ってきた。 ・各小中学校では、学校だより等を活用し、人権尊重の大切さを啓発を図ってきた。 ・中学校では制服等の性差に配慮した取組が行われてきた。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割程）
・校種や学校間での格差が生じないようにするとともに、児童生徒の発達段階に応じた指導が継続的かつ適切に行われるようにはたらかけていく。 ・LGBTQなど新たな性に関する課題に関する学びのための、情報提供を行っていく。		

【委員会の評価】

・学校だよりにおける男女平等に関する情報発信については、具体的な内容がないと評価しづらい。(R3) ・進路や成績のことなら足を運んでも、会への出席は難しいのではないかな。お便り、広報誌の活用を促された。(R3) ・参観日に合わせて、たとえば総合や道徳の授業で、ジェンダーの話をする等を検討されてみてはどうか。(R3) ・小、中学校において、LGBTQの取組は前向きだと感じる。(R5) ・LGBTQの講演について、市内すべての小・中学校で取り組めるとよいと思う。(R5)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	1	人権を尊重した男女平等を推進する意識づくり	
重点目標：	2	男女平等を推進する教育・学習の充実	
施策の方向：	(2)	保護者・保育士・教職員等への意識啓発	
具体的施策：	③	教職員の校務分掌や研究会等において、性別による固定的な役割分担とならないように、男女平等の視点による指導を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	教職員に対する職員研修の実施	事業の対象
研修計画に基づいた教職員への人権に関わる研修会等を通して、人権の尊重、男女平等教育の重要性について周知並びに啓発を図る。		教職員

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・市内小中学校でも女性管理職の割合（22.2%）が高くなってきている。校務分掌を決める際にも、管理職に対して「適材適所」を主眼として、性差にとらわれないように働きかけてきた。 ・校内での非違行為根絶研修の中にパワハラ等を適切に位置付け、風通しの良い職場環境づくりを心がけるように指導してきた。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
・引き続き、一人ひとりの児童生徒に対して、男女共同参画の意義と意図について理解を深め、自ら実践できるように態度の涵養を図る。		

【委員会の評価】

・実施した人権研修会について講師や内容なども記載してもらいたい。(R3) ・検証の「今後も、一人一人の…人権を尊重する視点をもってもらえるような教育実践を継続する」の具体的な内容の記載があるとよいと思う。(R5) ・教育委員会で研修等を提案していくのはどうか。(R5) ・学校でLGBTQについての担当者を置いて、力を入れていくのはどうか。(R5)		
--	--	--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】
☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅱ	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	1	政策・方針決定の場における女性参画の促進	
施策の方向：	(1)	職場・各種団体等の方針決定の場への女性の参画促進	
具体的施策：	①	講演会やセミナー、パネル展を開催し、男女共同参画の重要性について啓発します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
7	企業向けの講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
企業、団体等に対し、講演会やセミナー、パネル展を開催し、男女共同参画の重要性について啓発する。		企業、団体等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・男女共同参画パネル展の開催（6月、9月） ・令和5年10月20日 男女共同参画セミナー 「笑って考えよう 生活のこと、仕事のこと ～男性の家事が社会を救う！～」 講師：東京大学 教授 瀬地山 角 氏（参加者：103名） 【年代別内訳：20代以下6.3%、30代31.6%、40代27.8%、50代16.5%、60代8.9%、無回答2.5%】	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
・男女共同参画パネルにおいては、「男女がともに働きやすい職場環境づくり等の取り組み」パネルをハッピーパートナー企業から作成いただき、展示した。特に「親子ふれあい広場」においてハッピーパートナー企業のパネルを男性の方がじっくり観ていた方が多くみられたので、次回も展示していきたい。 ・男女共同参画セミナーにWEBで参加をした企業、団体もあり、次回もWEBでのセミナー参加が可能なように計画していきたい。		

【委員会の評価】

・参加者数だけではなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	1	政策・方針決定の場における女性参画の促進	
施策の方向：	(2)	市の審議会等への女性委員の積極的登用	
具体的施策：	①	市所管の各種審議会等において女性委員の積極的登用に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
8	市所管の各種審議会等における女性委員の登用割合	30.0%	35.0%
9	市所管の各種審議会等における女性委員が0人の各種審議会等数	16	0

【事業名・内容】

事業名	審議会等への女性委員の積極的登用	事業の対象
市所管の審議会等における女性委員の積極的登用を推進する。		審議会等委員

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・胎内市附属機関等設置及び運営基準要綱第5条に則り、任期満了等で委員に変更がある場合には、女性を積極的に登用するよう、胎内市男女共同参画庁内推進委員を通じ、依頼している。 ・市所管の審議会等委員への女性の登用割合：34.1% ・女性委員が0人の審議会等数：11	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できなかった(3割以下) ・近年、市所管の審議会等における女性委員の比率は少しずつであるが増加している。 ・一方で、依然として女性委員がいない審議会等も一定数あり、その主な要因としては、審議会等の要綱等において委員について充て職となっているものも多いことなどが考えられる。 ・目標値に向けて、特に女性委員がいない審議会等に対しては、より積極的登用をよびかけることが必要である。	

【委員会の評価】

・女性ゼロの審議会などの現在地も記載してもらいたい。(R3) ・なかなか改善しない一番の課題なども記入してもらいたい。(R3) ・現在の女性割合を計算するだけでなく、設定した目標値に達しない原因をしっかりと見定める事業を展開してはどうか。(R3) ・各課の担当者に働きかけなど、直接もう一声声掛けなどがあるとよい。(R4)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	Ⅱ	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	1	政策・方針決定の場における女性参画の促進
施策の方向：	(2)	市の審議会等への女性委員の積極的登用
具体的施策：	①	市所管の各種審議会等において女性委員の積極的登用に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
8	市所管の各種審議会等における女性委員の登用割合	30.0%	35.0%
9	市所管の各種審議会等における女性委員が0人の各種審議会等数	16	0

【事業名・内容】

事業名	女性委員登用状況の調査	事業の対象
市所管の審議会等における女性委員の割合を毎年調査しホームページ等で公表する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	ホームページにおいて公表した。 (審議会等における女性委員の割合：34.1%、女性委員が0人の審議会等数：11)	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた (6~7割)
	審議会担当者と連携し、市所管の各種審議会等における女性委員の登用割合を調査する際には、併せて女性委員の積極的登用について呼びかけている。今後も継続して取り組んでいく。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	農林水産課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	Ⅱ	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進
施策の方向：	(1)	女性人材の育成と起業支援
	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進
具体的施策：	①	女性農業者フォーラムなどへの参加を促し、農業経営等に関する知識習得の場の提供に努めます。
	②	交流活動を通じて女性農業者同士のネットワークの形成を図り、地域のリーダーの育成に努めます。
	③	農業生産技術や経営に関する研修と交流機会の情報提供に努めます。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
10	農女子視察研修ツアー、農村女性”知恵のわ”フォーラム及び農業とくらしを考える女性のつどいの参加者数の合計	98人	100人

【事業名・内容】

事業名	農村女性政策	事業の対象
女性農業者を対象に、視察研修ツアーや合同フォーラム、農業とくらしを考える女性のつどいへの参加を通し農業経営等に関する知識習得の場や、女性農業者同士のネットワークの形成を図れる機会を提供する。		女性農業者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、合同フォーラムは中止となった。 (実施データ) 内 容 米粉のスイーツ作り講習会 実施日 令和5年7月31日 参加者 18人 内 容 胎内市農業女性「農女子視察研修（山形県酒田市）」 実施日 令和5年10月26日 参加者 18人 (成果データ) 参加者の年代別内訳としては60代・70代がほとんどだったが、若手女性農業者(30代)も参加があった。
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） 新型コロナウイルス感染症も落ちつきコロナ禍前の活動に戻りつつある。 視察や講習会は有意義なものになり情報交換と交流の場となった。 今後も、女性農業者同士の交流できる機会を多く提供できるよう、講習会等を計画していく。

【委員会の評価】

・参加者数だけではなく、例えば年齢などもデータ化するとよいのではないか。(R3) ・活躍している女性農家と連携して、さまざまな事業を推進していただきたい。(R4)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅱ	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進	
施策の方向：	(1)	女性人材の育成と起業支援	
具体的施策：	③	市の中小企業支援事業及び貸付事業等の支援事業の周知に努め、女性が積極的に活用、または対象となることができるよう促します。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
11	中小企業支援事業及び貸付事業を活用する女性経営者の件数	2件	5件

【事業名・内容】

事業名	商工業等自営業における女性の起業及び経営支援	事業の対象
市の中小企業支援事業や国・県および関係機関等の支援事業を周知して活用を促しながら、商工会等と連携して女性の起業に関する実務や創業後の経営に関する支援を行う。		女性経営者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ 中小企業支援事業及び貸付事業を活用する女性経営者（事業主）の件数 始める支援（起業・第二創業）2件 創業後支援（起業後3年以上経過した事業者の経営改善）0件 育てる支援（人材育成、人材確保、福利厚生改善）1件 ・ 市内事業者向けメルマガによる女性起業セミナー案内 1回	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） 中小企業支援事業及び貸付事業を活用した女性経営者（事業主）の件数は3件となった。内訳は、美容業及び飲食業で、果敢に起業や経営改革にチャレンジし、新規顧客獲得などの成果を上げている。また、実際に申請には至らず相談で終了した女性経営者もいたため、今後、動きがあった際にはしっかりとサポートをしていきたい。	

【委員会の評価】

・ 支援内容について、それぞれ概要の説明があるとよい。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	農林水産課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進	
施策の方向：	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進	
具体的施策：	①	農業体験等での学びを通じて農業に興味を持ってもらえるように努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
12	男女で構成される家族経営協定締結農家数	30戸	35戸

【事業名・内容】

事業名	ふるさと体験学習推進事業	事業の対象
市内小学生を対象に市民の民家に泊めて農村生活体験の機会を提供する。		小学生

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ふるさと体験学習の民泊体験は中止とし、 集団泊及び日帰りの農業体験活動等を実施した。 (実績) 市内小学校5学年 4校 児童数 211人				
検証 ※事業担当課が 事後記入	<table><tr><td>推進事業の達成度</td><td>できなかった (3割以下)</td></tr><tr><td colspan="2">コロナ禍により令和2年度から農家民泊を中止しており、ふるさと体験学習における男女共同参画の推進は図れなかったものの、体験活動については講師等において男女共同参画は図れている。農家民泊も含め、グリーン・ツーリズム事業全体として、男女それぞれの特性に見合った役割分担や共同での活動を行うため無意識のうちに男女共同参画は図られ、その趣旨に充分沿っているものとする。</td></tr></table>	推進事業の達成度	できなかった (3割以下)	コロナ禍により令和2年度から農家民泊を中止しており、ふるさと体験学習における男女共同参画の推進は図れなかったものの、体験活動については講師等において男女共同参画は図れている。農家民泊も含め、グリーン・ツーリズム事業全体として、男女それぞれの特性に見合った役割分担や共同での活動を行うため無意識のうちに男女共同参画は図られ、その趣旨に充分沿っているものとする。	
推進事業の達成度	できなかった (3割以下)				
コロナ禍により令和2年度から農家民泊を中止しており、ふるさと体験学習における男女共同参画の推進は図れなかったものの、体験活動については講師等において男女共同参画は図れている。農家民泊も含め、グリーン・ツーリズム事業全体として、男女それぞれの特性に見合った役割分担や共同での活動を行うため無意識のうちに男女共同参画は図られ、その趣旨に充分沿っているものとする。					

【委員会の評価】

・農家の方にもプランにおける位置づけが伝わるよう取り組んでもらいたい。(R3) ・農家体験を推進するのは良い事だと思うが、男女共同参画の主旨がどう盛り込まれているのか、もう少し記載があると良い。(R4)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	農林水産課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進	
施策の方向：	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進	
具体的施策：	②	家族経営協定制度の周知により、就農の促進に向けた意識啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
12	男女で構成される家族経営協定締結農家数	30戸	35戸

【事業名・内容】

事業名	家族経営協定	事業の対象
協定締結の推進のため、家族経営や今後経営移譲をしようとする農業者からの相談があった際に制度の周知を行う。また、認定農業者の支部集会及び関係団体等の会合の場で情報提供を行う。		農業者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	家族経営協定締結農家数：36件（増減なし） *昨年度報告値（31件）は誤り。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
	令和5年度は関係団体が集まる場を利用して情報提供を行っていた。今後も継続的に情報提供を行う。	

【委員会の評価】

・総会を通じて役員の方にお知らせするのも大事だと思うが、オンラインなど何らかの形で直接農家に働きかける機会があれば、もっと推進されていくのではないかと。(R4)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅱ	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	2	農林水産業・商工業等自営業における男女共同参画の推進	
施策の方向：	(2)	次世代を担う人材育成と女性の経営並びに社会参画の促進	
具体的施策：	④	市報等を通じて、事業承継に係る支援事業の周知と積極的な活用を促すとともに、関係機関と連携して積極的な人材育成に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
11	中小企業支援事業及び貸付事業を活用する女性経営者の件数	2件	5件

【事業名・内容】

事業名	企業や団体における意識の啓発・醸成	事業の対象
企業や団体等に対しセミナー等の開催を周知して啓発を図るとともに、事業主・雇用主に対して自らセミナー等を開催することにより意識の醸成を図るよう促す。		事業主・雇用主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ 中小企業支援事業及び貸付事業を活用する女性経営者（事業主）の件数 つながる支援（事業承継）0件 ・ 男女共同参画に関するセミナー等の市主催回数 0回 ・ 男女共同参画に関するセミナー等の情報提供（メルマガ等） 1回	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	あまりできなかった（4～5割程度）
男女共同参画促進活動を市SNS等で広報することに加え、セミナー開催及びセミナーに参加する際は、「育てる支援事業」を活用することができることを合わせて周知していく。		

【委員会の評価】

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】
☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	生涯学習課 総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅱ	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進	
施策の方向：	(1)	地域活動への男女共同参画の推進	
具体的施策：	①	講演会やパネル展を通して市民一人ひとりの男女共同参画意識の高揚を図ります。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
13	男女共同参画に関する市民向けの講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	市民講座	事業の対象
身近なテーマについて講座を開催し、各地区公民館と連携しながら男女共同参画社会についての啓発を行う。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	令和5年10月20日 男女共同参画セミナー 「笑って考えよう 生活のこと、仕事のこと ～男性の家事が社会を救う！～」 講師：東京大学 教授 瀬地山 角 氏（参加者：103名）	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割） ・各公民館において、チラシを様々なサークル活動団体の方に参加呼びかけを行った。 今後は少し早めにチラシを作成し、様々な方にPRできるように工夫していきたい。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】
☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅱ	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進	
施策の方向：	(1)	地域活動への男女共同参画の推進	
具体的施策：	②	市報等を通じて、男女共同参画に関する情報を発信し、正しい知識の普及・啓発に努めます。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
13	男女共同参画に関する市民向けの講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて、地域活動における男女共同参画を推進する情報を発信する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・市報（1月、2月）、ホームページの掲載、男女共同参画パネル展（6月、10月）の開催にて男女参画について掲載した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割程度）
	男女共同参画週間にあわせて定住自立圏事業の新発田市・聖籠町・胎内市の巡回パネル展を開催したことにより、他市町村の取組状況も知ることができた。	

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などすると検証結果につながるのでは。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	II	あらゆる分野での男女共同参画の推進
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進
施策の方向：	(2)	防災分野における男女共同参画の推進
具体的施策：	①	男女双方の視点で災害に強い地域づくりをめざし、自主防災組織を中心とした研修会等を実施します。
	②	男女共同参画の視点を踏まえた避難所開設訓練、防災講演会等を開催し、市民の意識啓発に努めます。
	③	男女それぞれのニーズに配慮した備蓄を行います。

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
14	防災士に占める女性の割合	7.2%	15.0%

【事業名・内容】

事業名	自主防災活動における女性の参画促進	事業の対象
地域の防災活動において、多様な意見等を反映させるため、地域の方針決定過程への女性の参画を促進するとともに、女性防災士の育成を図る。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	自主防災活動で活躍が期待される防災士向けに、識能向上研修会と防災講座を開催した。避難所資機材実習では女性防災士にも積極的に実践いただいた。 ・7月23日 識能向上研修会 会場：きのと交流館 参加：37名（内、女性防災士3名） ・3月10日 防災講座 会場：産業文化会館 参加：53名（内、女性防災士5名） ※令和5年度防災士：170名（内、女性防災士13名）	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割程）
防災士研修等で、その都度、地域の自主防災活動に積極的に参加するよう意識づけしている。地域の防災活動に女性を含む防災士が参画する自主防災組織も多く見られるようになった。また、自主防災組織へ向けた防災講話等においても、女性視点の防災活動は必要不可欠であるなど周知している。今後も継続して男女共同参画の視点をから防災士や自主防災組織の育成に努める。		

【委員会の評価】

・防災士について、女性の方は何名いるか記載があるとよい。(R3) ・全国で災害が多発しているので、将来的には必要とされる機会が増えると思う。これからの女性の防災士の育成に期待する。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅱ	あらゆる分野での男女共同参画の推進	
重点目標：	3	地域活動・防災活動等の女性参画の推進	
施策の方向：	(2)	防災分野における男女共同参画の推進	
具体的施策：	①	男女双方の視点で災害に強い地域づくりをめざし、自主防災組織を中心とした研修会等を実施します。	
	②	男女共同参画の視点を踏まえた避難所開設訓練、防災講演会等を開催し、市民の意識啓発に努めます。	
	③	男女それぞれのニーズに配慮した備蓄を行います。	

番号	指標	基準 (H30)	目標 (R5)
15	女性消防隊員数 (女性消防団員含む)	11人	15人

【事業名・内容】

事業名	災害対策の方針決定過程等への女性の参画促進	事業の対象
防火知識や応急処置技能を取得した女性消防隊員を確保するとともに、男女共同参画の視点を踏まえた災害対策の検討の場において、女性消防隊員の参画を促進する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	・地域の自主防災組織等の訓練に講師として参加し、A E D心肺蘇生、応急救護等について指導・説明を行った。 5/13若松町1(2名)、10/22市防災訓練(4名)、12/3消防団救命講習会(8名) ・令和5年度 女性消防隊員10名		
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた(6〜7割程度) ・女性消防隊は、主に火災予防の啓発や、消防団や自主防災組織を対象とした救命講習会においてAED心肺蘇生法の指導を行っている。 ・令和4年度より、消防団規則を改正し、活動内容に「災害時における後方支援」を追加し、避難所開設訓練に参加してもらい女性消防隊の気付きを活かし、男女双方の視点を持った取組みを推進していく。	

【委員会の評価】

・女性消防隊員も増員となるように育成をお願いしたい。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】
☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向：	(1) 男性の育児・家事・介護への参画促進
具体的施策：	① 夫婦で協力し合い、出産・子育てができるよう、パパママ学級を実施します。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
16	ワーク・ライフ・バランスに関する市民・企業向け講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	パパママ学級	事業の対象
妊婦とその夫を対象に、妊娠中の前期と後期の2回実施する。講義や沐浴体験などの実習、参加者同士のグループワークを行い、夫婦が協力し合って子育てができるよう支援する。悩みを抱えている妊婦が増加しているため、後期に個別相談を実施。		妊婦とその夫

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	教室は前期・後期を1クールとして、4クールを計画。 9/22(前期)は申し込みがなく、開催せず。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
・初産妊婦では夫と一緒に参加するケースが多い。 ・パパママ学級では、赤ちゃん人形を用い、おむつ交換や抱っここの仕方、沐浴方法などを体験してもらうことで、実際の育児手技がイメージもしやすくなっているように思う。また、夫婦での子育ての役割や男性の育児休暇等についてグループワークのテーマにしたり、各種制度についても情報提供し、夫婦で協力して子育てしていけるよう意識づくりに努めた。 ・参加者からは、ママ同士、パパ同士の交流や情報交換を求める声が多く、今後も出産や子育てに向けた不安の解消やつながりづくりのために事業を継続実施したい。		

【委員会の評価】

・パパママ学級で習う事は沐浴やオムツの替え方などであると考えられるが、動画配信サイトなどで簡単に観られると思うので、その他に育児休暇の取得方法や制度の周知を盛り込むなど、工夫した内容を検討してはどうか。(R4) ・パパママ学級の名称について、現代社会に即しているか検討されてはどうか。(R5)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向：	(1)	男性の育児・家事・介護への参画促進	
具体的施策：	②	講演会やパネル展を通して男性の家事・育児・介護への参画を促します。	
	④	市民・企業に対し講演会やセミナー等を通じて長時間労働の抑制や年休取得等の啓発を行います。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
16	ワーク・ライフ・バランスに関する市民・企業向け講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男性向け男女共同参画セミナー	事業の対象
女性財団との共催の地域セミナー等を通じて、市民・企業に対し、ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーを開催し、男性にとっての男女共同参画の意義を啓発する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・男女共同参画パネル展の開催（6月、9月） ・令和5年10月20日 男女共同参画セミナー 「笑って考えよう 生活のこと、仕事のこと ～男性の家事が社会を救う！～」 講師：東京大学 教授 瀬地山 角 氏（参加者：103名） 【年代別内訳：20代以下6.3%、30代31.6%、40代27.8%、50代16.5%、60代8.9%、無回答2.5%】	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割程度）
・女性財団との共催の地域セミナーは開催を行わなかったが、男女共同参画セミナー（令和5年10月20日）「笑って考えよう 生活のこと、仕事のこと ～男性の家事が社会を救う！～」を開催し、男性の視点からの職場や家庭のジェンダーギャップからの啓発を行った。		

【委員会の評価】

・参加者数だけでなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。（R3）
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向：	(1)	男性の育児・家事・介護への参画促進	
具体的施策：	③	市報等を通じて、事例等を紹介し意識啓発に努めます。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
16	ワーク・ライフ・バランスに関する市民・企業向け講演会やセミナー、パネル展の開催回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等を通じて男性の育児・家事・介護への参画を促進するためのコラム等を紹介し、意識啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・市報（7月1日号）に「ハッピーパートナー企業」の登録企業職員の男性育児についての様子を紹介した。（商工観光課）	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割程）
	・ハッピーパートナー登録企業の男性職員の育児の様子と一緒に紹介したことで身近に男性の育児が感じられ、男性の育児等についても考える機会となったと思う。	

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などすると検証結果につながるのでは。（R3）
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向：	(2)	男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策：	②	地域子育て支援センターにおいて、遊びの提供、親子の交流の場を提供します。また、育児相談の実施、育児講座を随時開催し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行います。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	地域子育て支援センター事業	事業の対象
地域での子育てを支援するため、ほっとHOT中条と市内の保育園、認定こども園に「地域子育て支援センター」を設置し、遊びの場の提供や親子の交流の場の提供、育児相談、育児講座を実施する。		就学前の親子

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・子育て支援センターにおいて、親子の交流の場の提供、遊びの提供を行ない、定期的な子育て講座や子育てに関する相談を実施した。 ・一部の子育て支援センターにおいて、定期的に出張ひろばや出前保育を実施した。 ・総務課男女共同参画事業と合同で年2回「親子ふれあい事業」を実施。その際、男女共同参画についてのリーフレットを配布するとともに、パネル展示を行う。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） ・親子で触れ合う時間、場所を保障することにより、子育ての孤独化を防止し、子育ての楽しさを保護者同士で共感することができた。 ・土日、休日には父親同士で子育て支援センターを利用する姿が頻繁にみられるようになった。父親も子育てを楽しむことができるような情報をこれからも発信していきたい。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課 総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向：	(2)	男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策：	②	地域子育て支援センターにおいて、遊びの提供、親子の交流の場を提供します。また、育児相談の実施、育児講座を随時開催し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行います。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業、子育て支援事業	事業の対象
・未就園児とその保護者・妊婦を対象に、子育て支援イベントを年2回開催する。 ・「親子ふれあいコンサート」を、総務課「男女共同参画事業」と共同で開催する。 ・「親子ふれあい広場」を開催する。		未就園児と保護者、妊婦

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	・「親子ふれあい広場」において男女共同参画パネル展を開催し、男女共同参画の視点に たった子育て支援等について啓発した。（総） ・子育て支援センターにおいて、親子の交流の場の提供、遊びの提供を行ない、定期的に子 育て講座や子育てに関する相談を実施した。（こ） ・一部の子育て支援センターにおいて、定期的に出張ひろばや出前保育を実施した。（こ） ・総務課男女共同参画事業と合同で年2回「親子ふれあい事業」を実施。その際、男女共同 参画についてのリーフレットを配布するとともに、パネル展示を行った。（こ）	
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
	・「親子ふれあい広場」において男女共同参画パネル展には、ハッピーパートナー企業の紹 介、ハッピーパートナー登録企業の取組内容、ファミリーサポートセンター等の子育てサー ビスの紹介を行った。（総） ・親子で触れ合う時間、場所を保障することにより、子育ての孤独化を防止し、子育ての楽 しさを保護者同士で共感することができた。（こ） ・土日、休日には父親同士で子育て支援センターを利用する姿が頻繁にみられるようになっ た。父親も子育てを楽しめるような情報をこれからも発信していきたい。（こ）	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】
☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向：	(2)	男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策：	③	ファミリーサポートセンターにおいて、仕事と家庭生活の両立を支援するとともに、子育ての不安や負担の軽減を図ります。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	ファミリー・サポート・センター事業	事業の対象
地域において、子育て家庭の仕事と育児の両立を支援し、子育てしやすい環境をつくることを目的として、「子育ての応援を受けたい方(依頼会員)」と「子育てを応援できる方(提供会員)」の、会員同士の相互支援活動を実施する。		<依頼会員> 子育て家庭 <提供会員> 市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ファミリーサポートセンター会員数：令和6年3月（令和5年3月）、依頼会員249名（240）・提供会員70名（65） 両方会員16名（15） のべ利用数：・令和5年度594件・令和4年度259件	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 ・提供会員の活動を複数人で行うことを可能とすることにより、提供会員の負担軽減につながった。 ・ファミリーサポートセンター利用の内訳としては、令和5年度は保護者等の外出の場合の預かり24%、保護者等の短時間・臨時的就労の預かり20%、保護者等の病気、その他急用の場合の預かり19%であった。（令和4年度は保護者等の外出の場合の預かり20%、学童保育の送迎18%、保護者等の短時間・臨時的就労の預かり17%、保護者等の病気、その他急用の場合の預かり16%であった。利用内訳から、保育所・学校の送迎が減少し、保護者自身の外出、就労、病気などの理由で利用をするケースが増加した。	できた（8割以上）

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 家庭と仕事等の両立支援
施策の方向：	(2) 男女共同参画の視点に立った子育て支援体制の充実と制度の周知
具体的施策：	④ 地域子育て支援センターの様子や男女共同参画の視点を取り入れた遊びの紹介、子育て情報などを掲載した情報誌の発行、ホームページへの掲載、子育て情報メールの発信に努め、様々な子育て情報の周知を図ります。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
17	子育て支援制度を認知している市民の割合	71.4%	75.0%

【事業名・内容】

事業名	子育て情報誌の発行、子育て情報メールの配信及びホームページの掲載	事業の対象
子育て通信「にこにこ」、子育て情報メール、ホームページにて、地域子育て支援センターに関する情報、子育てに役立つ情報、子どもの健康に関する情報、男女共同参画の視点を取り入れた子育て情報などを発信する。 子育て通信：月1回発行 子育て情報メール：定期配信月1回、臨時配信：随時 ホームページ:通年		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	・妊娠から学童期までの市の子育てに関する支援、サービスをまとめた子育て応援ブック「たいないっ子」を作成し、妊娠届の際や必要に応じて配布をした。 ・各月 1 回以上定期的に子育て情報メールを配信し、子育てに役立つ情報について周知した。 ・各支援センターにおいて、支援センターだよりを定期的に発行した。 ・子育て情報誌「にこにこ」を月 1 回発行するとともに市のホームページに掲載をした。 ・子育てに役立つ情報等について、子育て情報メールで周知を行った。		
検証 ※事業担当課が 事後記入	<table><tr><td>推進事業の達成度</td><td>できた（8割以上）</td></tr></table> ・子育て情報メール、子育て情報誌「にこにこ」とともに、昨年度と同じ内容にせず、常に新しい情報やタイムリーな話題の発信を心がけた。 ・子育て情報誌「にこにこ」は、市民の要望により、発行日を早めたことにより、各子育て支援センターのイベント情報を早期に知らせることができた。	推進事業の達成度	できた（8割以上）
推進事業の達成度	できた（8割以上）		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】
☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向：	(3)	男女共同参画の視点に立った介護支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策：	①	介護保険制度の利用者及びその家族が自ら制度を選択できるように市報やホームページ等を活用して、周知します。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
18	要介護（要支援）認定者の介護サービス利用者の割合	87.3%	90.0%

【事業名・内容】

事業名	市報、ホームページへの掲載	事業の対象
要介護認定者等やその家族が、介護保険サービスを利用する際に自らサービスを選択できるように市報やホームページ等を通じて介護保険制度やサービス内容等を周知する。		要介護認定者等やその家族

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	ホームページに介護保険制度全般について掲載 市報7月1日号に介護保険料についてのリーフレット折込 10,400部 「高齢者福祉・介護予防・介護保険サービス便利用帳」の作成 700冊	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みであり、市報等を通じて広く市民等へ介護保険制度やサービス内容等を周知することは必要な取組である。 また、「高齢者福祉・介護予防・介護保険サービス便利用帳」は、介護保険サービスの紹介など、介護保険全般についてまとめた冊子であり、要介護認定者等やその家族が適切な介護保険サービスを受けるための助けとなっている。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】
☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向：	(3)	男女共同参画の視点に立った介護支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策：	②	要介護認定等結果送付時に、サービス案内等記載されたパンフレットを同封します。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
18	要介護（要支援）認定者の介護サービス利用者の割合	87.3%	90.0%

【事業名・内容】

事業名	パンフレットの送付	事業の対象
要介護認定の結果通知等を送付する際に、サービス案内等が記載されたパンフレットを同封する。		要介護認定者等 やその家族

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	認定結果送付時に介護サービスの種類や利用方法等を記したチラシを同封 1,142件	
検証 ※事業担当課が 事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	同封チラシは、要介護認定者等やその家族が適切な介護保険サービスを受けるための助けとなっている。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	1	家庭と仕事等の両立支援	
施策の方向：	(3)	男女共同参画の視点に立った介護支援体制の充実と制度の周知	
具体的施策：	③	適切なサービスの利用や関係機関の紹介、各種制度につなげるなどの相談支援を行います。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
18	要介護（要支援）認定者の介護サービス利用者の割合	87.3%	90.0%

【事業名・内容】

事業名	高齢者福祉相談	事業の対象
市内4か所の地域包括支援センターに高齢者総合相談窓口を開設し、医療・介護・福祉に関する相談に応じます。		高齢者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	高齢者総合相談（市内4包括支援センター合計） 年間延11,914件	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
介護や福祉サービス等の支援が必要な高齢者に対して、適切なサービスの利用や関係機関の紹介、各種制度につなげるなどの相談支援を行うことにより、家族等の介護負担の減少や家庭と仕事の両立につながっているものと思われる。 また、高齢者やその家族にとって、専門職とつながることで何か困った時にいつでも相談できるという安心感も提供している。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 男女平等な就業環境の整備
施策の方向：	(1) 男女の均等な雇用機会と待遇の確保
具体的施策：	① 保育園、こども園において、0歳児から5歳児の乳幼児の受け入れ、早朝保育、延長保育、休日保育等による保育時間延長を継続し、保護者が安心して働ける環境の整備を図ります。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
19	胎内市の女性が働く環境について「労働条件が整っている」と感じている人の割合	4.5%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	延長保育事業・休日保育事業	事業の対象
就労形態の多様化により、保育標準時間認定（11時間）または保育短時間認定（8時間）を超える就労に対応する延長保育サービスを各園で実施する。 休日の預かりについては、日曜日および祝日に、保護者の就労などの都合により、家庭で保育が困難な場合に実施する。		保育施設における支給認定児童

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・安心して就労ができる体制を整えるため、保育園、こども園における早朝、延長保育を実施した。 ・日曜日および祝日保育実施日は8日間でのべ16名の利用があった。 ・保育園、こども園の家庭保育期間においても、保育を希望される園児の保育を行った。
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） ・早朝、延長保育の実施は、保護者が安心して就労できることにつながる。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 男女平等な就業環境の整備
施策の方向：	(1) 男女の均等な雇用機会と待遇の確保
具体的施策：	② 県や市が主催するセミナー等の情報提供を行います。
	③ 6月の男女雇用機会均等月間時に市報等で周知をします。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
19	胎内市の女性が働く環境について「労働条件が整っている」と感じている人の割合	4.5%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	男女雇用機会均等法の普及啓発	事業の対象
企業及び事業主に対して男女雇用機会均等法などの普及啓発に努め、そぐわない慣行や慣例の撤廃や改善を促す。		企業及び事業主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・セミナー等の市主催回数 0回 ・市報やメルマガ等での発信 労働トラブル相談（ハラスメントや賃金格差等）に関する情報 1回 - 雇用機会均等法に関する情報 0回
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できなかった（3割以下） ・関係機関と連携し、情報発信に努める。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向：	(2)	ハッピー・パートナー企業への登録促進	
具体的施策：	①	県と連携しハッピー・パートナー企業への登録促進を図ります。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
19	胎内市の女性が働く環境について「労働条件が整っている」と感じている人の割合	4.5%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	育児・介護休業法の普及啓発	事業の対象
企業及び事業主に対して育児・介護休業法等の普及啓発に努め、職員が休暇をとりやすく働きやすい職場環境の整備を促す。		企業及び事業主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ハッピーパートナー登録社数 21社（市総合計画：令和8年までに20社）	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	
ハッピーパートナー登録社は令和4年度は12社だったが、令和5年度には21社に増加した。市総合計画の目標数値を達成しているが、登録企業が増加していることを重ねて周知し、より多くの企業が登録するように努める。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向：	(2)	ハッピー・パートナー企業への登録促進	
具体的施策：	①	県と連携しハッピー・パートナー企業への登録促進を図ります。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
20	ハッピー・パートナー企業登録数（累計）	6社	19社

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
県と連携し、ハッピー・パートナー企業の取組等をホームページ等で紹介する。		企業

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	・商工観光課において、「ハッピーパートナー企業」のメリット、企業の取り組み事例を市報で紹介した。	
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
	・ハッピーパートナー企業のメリットを紹介できた。	

【委員会の評価】

・ハッピー・パートナー企業として取り組み事例やメリットを市報に掲載してはどうか。（R3）
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向：	(2)	ハッピー・パートナー企業への登録促進	
具体的施策：	①	県と連携しハッピー・パートナー企業への登録促進を図ります。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
20	ハッピー・パートナー企業登録数（累計）	6社	19社

【事業名・内容】

事業名	ハッピー・パートナー企業の登録促進	事業の対象
関係機関への呼びかけや企業訪問により、ハッピー・パートナー企業への登録を推進し、男女共同参画の推進を図る。		企業

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ハッピーパートナー企業登録数：21件（R6.4.1現在）	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
	商工観光課、商工会と連携し、登録数が目標を上回った。	

【委員会の評価】

・胎内市としてハッピー・パートナー企業登録のメリットを増やしてはどうか。（R3）
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅲ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向：	(2)	ハッピー・パートナー企業への登録促進	
具体的施策：	②	ハッピー・パートナー企業に対し、社員同士の交流や情報発信の場を提供し、男女が働きやすい環境整備に努めます。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
20	ハッピー・パートナー企業登録数（累計）	6社	19社

【事業名・内容】

事業名	交流機会の提供	事業の対象
ハッピー・パートナー企業に対し、社員同士の交流や情報発信の場を提供し、男女が働きやすい環境整備に努める。		企業

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ハッピーパートナー企業登録数：21件（R6.4.1現在）	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できなかった（3割以下）
担当者レベルで交流会の検討はしたが、実現には至らなかった。 来年度は、施策内容も含めて検討する必要があると思う。		

【委員会の評価】

・ハッピー・パートナー企業同士で男性の育児休暇の取得率や、女性がどういう風に活躍できるのか、など情報共有できる場を提供していただきたい。（R4）
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向：	(3)	女性に対する再就職支援の推進	
具体的施策：	①	企業への啓発として、女性の再就職、起業等のための情報提供や支援を行います。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
21	胎内市の女性が働く環境について「働く場が多い」と感じている人の割合	10.9%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	女性の求職者に対する求人情報の提供	事業の対象
ハローワークや商工会と連携して女性の求職者に対する求人情報を積極的に提供する。		女性の求職者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・女性の再就職向け企業説明会の案内（チラシ設置、ポスター掲示） 1回	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できなかった（3割以下）
	・女性の求職者に対する求人情報の提供に努めるとともに、企業側が求人を出しやすいようにサポートできないか検討していく。	

【委員会の評価】

・情報誌提供以外にも何か実施したほうが良いのではないか。（R3）

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】
☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課 商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向：	(3)	女性に対する再就職支援の推進	
具体的施策：	②	子育て等でいったん離職した女性が再就職できるよう、セミナー等を行います。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
21	胎内市の女性が働く環境について「働く場が多い」と感じている人の割合	10.9%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
子育て等でいったん離職した女性が再就職できるよう、セミナー等を実施する。		女性

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・胎内市主催のセミナーは開催できなかったが、新潟県女性財団のセミナーを市報、ホームページに掲載した。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割程）
	・啓発冊子についても他市町村の新潟県女性財団やハローワーク等のセミナーを市報等に掲載し周知していく。（総） ・市が独自でセミナーを企画することを検討しつつも、すでに発行されているような啓発本や他団体のセミナー等を周知するなど、柔軟に対応していきたい。（商）	

【委員会の評価】

・セミナーを開催できないときは、啓発冊子発行やオンラインに切り替えるなどしてはどうか。（R3）

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	商工観光課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	III	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	男女平等な就業環境の整備	
施策の方向：	(3)	女性に対する再就職支援の推進	
具体的施策：	③	ハローワーク等からの情報を収取して支援に努めます。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
21	胎内市の女性が働く環境について「働く場が多い」と感じている人の割合	10.9%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	事業の対象
求職者と企業等に対する周知と啓発 ハローワークや商工会と連携して女性の求職者や雇用主に国等の支援を周知する。	女性の求職者、 雇用主

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	・市メルマガ6月7日号「にいがた女と男（ひととひと）フェスティバル2023講演会」案内掲載。 ・「笑って考えよう 生活のこと、仕事のこと 男の家事が社会を救う！」講演会実施。
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度 あまりできなかった（4～5割程度） ・女性が働きやすいために実施する、職場環境や制度等の整備に利用できる補助金（育てる支援事業）はすでにあるが、より具体的に利用例等を提示するなどして、企業側の受入体制をサポートできるように努める。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
 □ 推進目標

年度	R5
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち	
基本目標：	Ⅳ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1	生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向：	(1)	生涯を通じた男女の心と体の健康支援
具体的施策：	①	特定健康診査を実施し、健康増進や生活習慣病予防のために、自ら健康管理を行える人が増加するよう努めます。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
22	特定健診の受診率	45.4%	60.0%

【事業名・内容】

事業名	特定健康診査	事業の対象
特定健康診査を実施し、健康増進や生活習慣病予防のために、自ら健康管理を行える人が増加するように支援します。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	特定健診（集団健診5月～11月 2,404人、施設健診8月～1月10人、 国保加入者の特定健診受診率〇〇%（8月に速報値が出る予定）） 集団検診受診者（国保加入者や、30代の市民、後期高齢者の希望者）1,647人を対象として、特定健診結果説明会、訪問、来所相談または電話相談により1,627人に保健指導を実施）	
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度 感染対策を講じながら健診と保健指導が実施できた。 集団健診対象者には結果説明会などを通して自分の健診結果を振り返る機会にしてみました。	できた（8割以上）

【委員会の評価】

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R 5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向：	(2) 性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）の普及・啓発
具体的施策：	① 性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に関する情報を市報等で発信し啓発に努めます。

番号	指標	基準（H30）	目標（R 5）
23	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて内容まで知っている人の割合	3.3%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等により性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に関する情報を発信し啓発に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・2月1日特集号「ウィズ（WITH）～ともに生きる～」において生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に関する周知を行った。
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） ・生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）について市報において啓発をおこなった。今後も様々な機会に啓発を行っていく。

【委員会の評価】

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向：	(2) 性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）の普及・啓発
具体的施策：	③ 赤ちゃんふれあい教室を実施し、命の尊さを学び、子育てへの価値観を高めます。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
23	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて内容まで知っている人の割合	3.3%	10.0%

【事業名・内容】

事業名	赤ちゃんふれあい教室	事業の対象
中学生を対象に年1回開催。講義や妊婦疑似体験、子育て中の母へのインタビュー、乳児とのふれあいを通じ、命の大切さや子育てへの価値観を高める。		中学生

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	夏休み期間中に1回開催。 参加者：10人 従事者：助産師、保健師、養護教諭等 内容：講話、グループワーク、子育て中の母親へのインタビュー、赤ちゃんとのふれあい遊び等
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） ・各中学校への事業の周知や参加の声かけを行い、遠方からの参加者には送迎車の手配をするなど参加しやすい環境づくりに努めた。 ・参加者からは「生命の尊さを学ぶことができた」「育児は大変というイメージがあったが、大変ながらも楽しくやりがいがあるというイメージに変わった」などの声が聞かれ、今後も継続して事業実施していきたい。

【委員会の評価】

・「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」（性と生殖に関する健康と権利）については女性の人権の重要な一つである。啓発については総務課担当でいいが、具体的事業を健康づくり課、テーマによっては学校教育課等が担当すべき。そのためには担当課職員が「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」を正しく理解し、その視点を持った具体的事業の実施が必要。生涯にわたる健康では思春期も更年期等もある。心と体の健康支援については健康相談業務の実施が必要。（R3）

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	学校教育課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向：	(3) 性に対する正しい知識の啓発
具体的施策：	① 学校教育のさまざまな機会において、効果的な学習が行われるように、発達段階に応じた適切な指導の充実を図ります。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
24	保護者と子どもを対象とした性に関するセミナーの実施回数	—	1回

【事業名・内容】

事業名	事業の対称
性に関する教育の実施	
学習指導要領に基づく体育や保健体育の授業において、養護教諭等をはじめ関係機関等と連携を通して授業実践の充実を図る。	児童・生徒

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・小中学校での特別活動や特別の教科「道徳」、総合的な学習の時間、体育（保健体育）、宿泊行事等の学校行事をはじめとする教育活動を年間計画に適切に位置付け、児童生徒の発達段階に応じた性に関する正しい知識と行動選択を学ぶ機会を提供することができた。
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 おおむねできた（6～7割程度） ・インターネットやSNS等の性に関する影響が大きいことを勘案して、保護者等を巻き込んだ継続的なメディアコントロールの啓発がより大切になってくる。 ・性に関する正しい理解は児童生徒を取り巻く大人たちの影響が大きいことから、地域・社会全体で正しい理解の啓発のために、関係機関・団体との一層の行動連携に努めていく。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	1 生涯にわたる生と性に対する正しい知識の普及と心と体の健康支援
施策の方向：	(3) 性に対する正しい知識の啓発
具体的施策：	② 児童生徒の保護者を対象に性に関する学習会の機会を提供します。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
24	保護者と子どもを対象とした性に関するセミナーの実施回数	—	1回

【事業名・内容】

事業名	事業の対象
保護者会等での学習会 小・中学生の子を持つ保護者を対象に性に関するセミナーを開催する。	保護者

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ 中学2年生の生徒に男女共同参画推進計画の中学生アンケートを行う際にリーフレットを配布した。
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 あまりできなかった（4～5） ・ リーフレットは、中学生にもわかりやすい内容で家庭において保護者と一緒に考えていただけるように配布をいたしましたが、次回からは保護者からの感想や意見をいただけるように工夫したい。

【委員会の評価】

・ セミナーを開催できないときは、啓発冊子発行やオンラインに切り替えるなどしてはどうか。(R3)
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R 5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	IV 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向：	(1) ドメスティック・バイオレンス（DV）の根絶と防止に向けた啓発
具体的施策：	① DVに対する認識の向上及び防止のための講演会やセミナー、パネル展を開催します。

番号	指標	基準（H30）	目標（R 5）
25	DV防止について市報等の啓発または講演会やセミナー、パネル展を開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
DVに対する認識の向上及び防止のための講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・男女共同参画パネル展（6月）、人権パネル展（8月）でDV防止について啓発を行った。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割）
・DV防止法が改正されたことについても含めて、啓発していきます。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり	
施策の方向：	(1)	ドメスティック・バイオレンス（DV）の根絶と防止に向けた啓発	
具体的施策：	②	市報等によりDV防止の啓発や支援情報、相談窓口の周知に努めます。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
25	DV防止について市報等の啓発または講演会やセミナー、パネル展を開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	事業の対称
男女平等社会推進事業	
年間を通じて、市報等によりDV防止のための啓発や相談窓口の周知に努める。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・2月1日特集号「ウィズ（WITH）～ともに生きる～」においてDV防止法の改正と相談窓口の周知について行った。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
	・DV防止法の変更点について詳しく、周知を行うことができた。今後もわかりやすく周知を行っていく。	

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などと検証結果につながるのでは。(R3)
 ・市報を利用し、「それ、DVですよ!!」「誰に食わしてもらっているんだ!!」「何もできないくせに（収入がない）」など、ショッキングではあるが目を引くような文言で、中学生が理解できるような内容で周知・啓発されたい。(R3)

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向：	(2) あらゆるハラスメントの根絶と防止に向けた啓発
具体的施策：	① あらゆるハラスメントに対する認識の向上及び防止のための市民や企業向けの講演会やセミナー、パネル展を開催します。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
26	あらゆるハラスメントについて市報等の啓発または講演会やセミナーを開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
あらゆるハラスメントに対する認識の向上及び防止のための講演会やセミナー、パネル展を開催する。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・市民向けのハラスメント研修は未実施。 ・職員向けのハラスメント研修は実施。 タイトル：ハラスメント防止研修会、講師：株式会社インソース野崎新吾様 対象：課長、係長（計58名） ・男女共同参画パネル展の開催（6月）
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 あまりできなかった（4～5割） 職員向けのハラスメント研修については実施したが、市民向けの研修については実施できなかった。講演会やセミナーについては、開催方法を工夫する形で検討したい。（各種専門機関と連携して開催する方法や当市でサテライト会場を設ける方法等も視野に入れる。）

【委員会の評価】

・参加者数だけではなく、例えば年齢や職業もデータ化するとよいのではないか。（R3）

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向：	(2) あらゆるハラスメントの根絶と防止に向けた啓発
具体的施策：	② 市報等によりあらゆるハラスメントに対する防止の啓発や支援情報、相談窓口の周知に努めます。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
26	あらゆるハラスメントについて市報等の啓発または講演会やセミナーを開催した回数	—	1回以上

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等によりあらゆるハラスメントの防止のための啓発や支援情報、相談窓口の周知に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・市報やホームページを通じて相談窓口の周知を行った。（新潟県男女平等推進相談室、女性の人権ホットライン、弁護士による無料法律相談 NPO法人ウィメンズサポートセンターにいた等）
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 おおむねできた（6～7割） ・年間を通して啓発と相談窓口の周知に努めている。 ・今後も被害を未然に防ぐために、SNSの利用も含め、さまざまな機会を捉えて相談窓口等の周知を徹底する必要がある。 ・また、より多くの方に見ていただけるよう内容も工夫が必要である。

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などすると検証結果につながるのでは。（R3）
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向：	(3) 女性相談窓口の充実及び他の期間との連携強化
具体的施策：	① 市報等により国や県、市、民間団体の相談窓口の周知に努めます。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
27	DVについて無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	36.5%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	男女平等社会推進事業	事業の対象
市報等による国や県、民間団体の相談窓口の周知に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・11月の「女性に対する暴力をなくす運動について」期間を市報において啓発し、相談窓口についても周知した。 ・男女共同参画パネル展において、リーフレット等を設置した。
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 おおむねできた（6～7割） ・男女共同参画パネル展においてリーフレット等を設置したところ、持参される方がおり、あらゆる機会を捉えて市民に対して周知していく。

【委員会の評価】

・市報に掲載するだけでなく、SNSにアップする→アップしたらアクセス数を確認などすると検証結果につながるのでは。（R3）
--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ■ 協働目標
□ 推進目標

年度	R5
事業担当課	総務課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち		
基本目標：	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり	
施策の方向：	(3)	女性相談窓口の充実及び他の期間との連携強化	
具体的施策：	②	人権擁護委員や民生児童委員等の関係機関と、連携を強化し早期解決に努めます。	
	③	関係機関と連携を図り、相談窓口の充実と強化を図ります。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
27	DVについて無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	36.5%	20.0%

【事業名・内容】

事業名	関係機関との連携強化	事業の対象
人権擁護委員や民生児童委員等の関係機関と、連携を強化し早期解決に努める。		市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・人権擁護委員による「デートDV」についてリーフレット配布（市内の高校）を行った。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	おおむねできた（6～7割）
	・人権擁護委員等と協力しながら、あらゆる機会を捉えて市民に対して周知していく。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	2 あらゆる暴力を許さない社会づくり
施策の方向：	(4) 児童虐待防止策の推進
具体的施策：	① 児童家庭相談窓口において、保護者等からの相談対応を行います。また、学校や保育園（こども園）、児童相談所等の関係機関と連携し、児童や保護者への支援を行います。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
28	児童虐待に関して無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	—	35.0%以下

【事業名・内容】

事業名	児童家庭相談窓口	事業の対象
児童家庭相談窓口を設置し、保護者や学校・保育園（こども園）等からの相談対応を行う。		保護者等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・ 児童家庭相談窓口を設置して、保護者や関係機関からの相談に対応した。 相談実件数 58件 内訳：養護相談 35件（児童虐待相談 21件、その他の養護相談 14件）、保健相談 0件、障害相談 3件、非行相談 2件、育成相談 18件（性格行動相談 10件、不登校相談 5件、育児しつけ相談 3件）その他の相談 0件 ・ 指標にある「児童虐待に関して無料で相談できる窓口があることを知らなかった人」の割合については、令和6年度中にこども支援課でアンケートを取る予定。
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することができた ・ 母子保健部署と同一係内に窓口を設置しているため、妊娠届時から情報把握が可能であり、子育てに関する相談に早期から対応することができている。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	健康づくり課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅳ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	2	あらゆる暴力を許さない社会づくり	
施策の方向：	(4)	児童虐待防止策の推進	
具体的施策：	②	市報に児童虐待防止に関する記事を掲載し、啓発や相談窓口の周知を行います。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
28	児童虐待に関して無料で相談できる窓口があることを知らなかった人の割合	—	35.0%以下

【事業名・内容】

事業名	事業の対象
児童虐待防止に関する啓発、窓口の周知	
市報に児童虐待防止に関する記事を掲載し、併せて児童家庭相談窓口の周知を行う。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・「市報たいない」へは、隔月で啓発記事を掲載した。 ・児童虐待防止推進月間に、関係機関にポスター掲示の依頼、リーフレットの配布を行った。 ・2歳児歯科健診で児童虐待防止のリーフレットを保護者に配布している。	
検証 ※事業担当課が事後記入	男女共同参画の視点で、事業を実施することが	できた
	・市報のほか、母子保健事業やホームページへの掲載等を通じて啓発活動を行うことができた。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R 5
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	3 貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向：	(1) 複合的な課題を抱える生活困窮者の自立促進
具体的施策：	① それぞれが抱える様々な困難について、気軽に安心して相談ができる「福祉まるごと相談窓口」の充実と周知を進めます。

番号	指標	基準（H30）	目標（R 5）
29	地域支え合いサポーター認定者数	44人	62人

【事業名・内容】

事業名	事業の対称
福祉まるごと相談窓口の開設	
まるごと相談員3名が、生活困窮や高齢、障がいなど福祉に関する生活上の様々な困りごとの相談に応じる相談窓口を開設し、関係部署等とも連携しながら解決策を一緒に探り、必要とする支援へつなげる。	市民

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	福祉まるごと相談窓口 年間延相談件数 実37人、延92件
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） 相談者の年代は20代～80代と幅広く、健康障害や家族との関係、生活困窮、介護に関すること等の問題を抱えた人に対し、解決策を一緒に探り、必要な支援につなげることで、安心して暮らすことのできる環境の整備が行えており、相談者のたらい回しの防止の観点からも必要な事業である。

【委員会の評価】

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	福祉介護課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	3 貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向：	(1) 複合的な課題を抱える生活困窮者の自立促進
具体的施策：	② 関係機関との連携を図り、地域や社会資源を活用し、自立に向け状況に応じた支援を行います。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
29	地域支え合いサポーター認定者数	44人	62人

【事業名・内容】

事業名	事業の対象
生活困窮者自立支援ネットワーク会議 弁護士、就労支援関係者、高齢・障がい福祉関係者、社会福祉法人の職員、医療関係者、民生児童委員、ボランティア団体、市の関係課職員を構成員とし情報交換・連携強化を推進する会議を年2回開催する。	関係機関

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	R5.7、R6.2 年2回会議を開催。委員22人。出席委員延べ人数：38人
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） 生活保護及び生活困窮者自立相談支援事業等の実施状況報告を行ったほか、国の動向や当市における対応、生活困窮者等向けの施策事業の説明や困難事例検討を行い、情報交換した。現状把握と問題認識の共有、連携強化を図る観点からも必要な事業である。

【委員会の評価】

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	3 貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向：	(2) ひとり親家庭等への支援
具体的施策：	② ひとり親家庭等に対して児童扶養手当を支給し、生活の安定と自立の促進を図ります。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	児童扶養手当	事業の対象
離婚などにより、ひとり親となった方や、親に代わってその児童を養育している方への支給を行う。 ※支給の対象者は、児童を監護しているひとり親家庭の親。または、父母のいない児童を養育している養育者。 ※18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童 （政令で定める程度の障害の状態にある児童については20歳未満）		ひとり親家庭等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	奇数月に、約200人の受給者に対して手当の支給を行った。
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） 所得等の制限があるため、すべてのひとり親家庭等が受給対象ではないが、保護者の経済的負担の軽減となり、児童の生活の安定と自立につながっている。

【委員会の評価】

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	IV	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向：	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策：	③	父又は母及び児童等の医療費の一部を助成し、保健の向上と福祉の増進、経済的負担の軽減を図ります。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	子ども医療費助成	事業の対象
子どもの医療費の一部助成を行う。 ※助成の対象は、通院・入院とも18歳の3月末日まで 自己負担額…保険適用分のみ助成対象 通院：1回530円 （1医療機関につき、月の初回から4回目まで。5回目以降は0円） 入院：1日1,200円		高校生までの児童

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果のデータ ※事業担当課が事後記入	・年度の切替り時に3,064人更新し、その都度新規、変更等の手続きの対応をした。	
検証 ※事業担当課が事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
・親の所得等の制限がなく、すべての児童が受給対象となり、保護者の経済的負担の軽減となっている。		

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち
基本目標：	Ⅳ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり
重点目標：	3 貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向：	(2) ひとり親家庭等への支援
具体的施策：	③ 父又は母及び児童等の医療費の一部を助成し、保健の向上と福祉の増進、経済的負担の軽減を図ります。

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	ひとり親家庭等医療費助成	事業の対象
ひとり親家庭等の医療費の一部助成を行う。 ※助成の対象は、健康保険に加入しているひとり親家庭の親と児童。または父母のいない児童を養育している養育者と児童。 ※18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童 （政令で定める程度の障害の状態にある児童については20歳未満） 自己負担額…保険適用分のうち 通院：1回530円 （1医療機関につき、月の初回から4回目まで。5回目以降は0円） 入院：1日1,200円 ※所得制限により、医療費助成が受けられない場合もある。		ひとり親家庭等

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	・ 令和5年度においては166人更新し、その都度新規、変更等の手続きの対応をした。 ・ 市報やホームページ等を通じて広く周知を行い、対象となる方に情報が届くよう努めた。
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度 できた（8割以上） 所得等の制限があるため、すべてのひとり親家庭等が受給対象となるわけではないが、保護者の経済的負担の軽減となっている。今後も、ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進、経済的負担の軽減のため継続して取り組んでいく。

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいきいきと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅳ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向：	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策：	④	就業に結び付きやすい資格取得のため、養成機関において修業した際に、修業期間の生活費を支給し、生活の安定と経済的自立の促進を図ります。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	高等職業訓練促進給付金等支給事業	事業の対象
ひとり親家庭が、養成機関で看護師等の資格取得に向けた1年以上のカリキュラムを受講する場合、48か月を上限に給付金の支給を行う。		ひとり親家庭

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	前年度、作業療法士の資格取得カリキュラムを修了した1名に対し、一時金として給付金の支給を行った。	
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度	できた（8割以上）
	資格の取得を支援し、ひとり親家庭の安定した就業に結びつけることができている。	

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄

(第3次) 男女共同参画プランにおける実施計画の事業進行管理シート

※各課の事業別シートは提出書類フォルダ内にあります

【目標区分】 ☐ 協働目標
☒ 推進目標

年度	R5
事業担当課	こども支援課

【プランにおける位置づけ】

計画のテーマ：	男女がいそいそと活躍できるまち		
基本目標：	Ⅳ	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた環境づくり	
重点目標：	3	貧困等により困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備	
施策の方向：	(2)	ひとり親家庭等への支援	
具体的施策：	⑤	主体的な能力開発の取組の支援として、就業に結びつくと考えられている教育訓練講座の受講費の一部を助成し、経済的自立の促進を図ります。	

番号	指標	基準（H30）	目標（R5）
30	資格取得者のうち、就業に結び付いた人の割合	100%	100%

【事業名・内容】

事業名	自立支援教育訓練給付金支給事業	事業の対象
ひとり親家庭の親が、教育訓練講座を受講した場合の経費の一部の支給を行う。		ひとり親家庭

【男女共同参画推進におけるデータ】

実施・成果の データ ※事業担当課が 事後記入	該当なし	
検証 ※事業担当課が 事後記入	推進事業の達成度	できなかった（3割以下）

【委員会の評価】

--

●文字の色について

青字：事業担当課が事業実施（前）に記入する欄

赤字：事業担当課が事業実施（後）に記入する欄